

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	9
事業名	土地改良事業	会計	款	項	目
		一般	6	1	4
施策	5 賑わうまち	課名	産業課		
	5-1 働きがいのあるまちをつくる	係名	産業振興係		
	5-1-1 農業の振興				
主要施策					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			45,702		27,573	18,156		
財源内訳	直接事業費 A		41,412		23,283	13,866		
	うち一般財源		13,222		23,151	10,183		
人件費 (千円) B			4,290		4,290	4,290		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.65	4,290	0.65	4,290	0.65	4,290
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	農業用水利施設の維持管理及び更新時には多額な費用を要するため、町財政に影響が少なるよう適正な負担割合の平準化を図る必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・神田2期の改修工事を引き続き県により実施。神田3期及び4期について、県、土地改良区、町と協議した。 ・農業水路等長寿命化・防災減災事業として、防災重点ため池のハザードマップを作成した。 	④今後の改善計画	県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。